
逆襲

相澤有

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
逆襲

【Nコード】
N6347F

【作者名】
相澤有

【あらすじ】
前からいじめられていた工藤洋子。彼女は、実話金持ちで警察を動かせるような、人だった。

「死ぬよ。」

「きゃはは、冗談でしょ？もう、工藤さんったらあ！」

私は、工藤洋子。

今、喋ったのが吉川洋子。私と同じ名前だけど性格がまるで違う。

「そう、思ってたば？さよなら」

たたたたたたたた

ひゅっ

私は、屋上のヘイを飛び越えた。

「嘘でしょ？」

「はあ？嘘じゃないに決まってるジャン！」

「や、やめた方が「黙って」」

「おめえらに苦しめられたから、だから私は飛び降りるんだよ？分かる？」

「・・・・・・・・・・」

「さよなら♪皆さん、あ、そうそう、遺言があるわ」

「何？」

「あんた達を呪い殺すから♪じゃねw」

ひゅうー——————……………

「あっ」

どしやッ

「きゅ、救急車を呼ぼう。」

「うん」

もちろん、私は生きています。

落ちた効果音は作ったのお！

落ちたら、下見ようねえ！！

「せ、先生！工藤さんが屋上から飛び降りました！」

「えっなんですって！！」

この人は、私の担任の相澤先生

「なんで、飛び降りたか……事情はわかる??」

「えッ……」

あららアことばが詰まってしまってるう（笑

や、今下から上がってきてボイスレコーダーに音をいれているのです

「し……知りません」

「まあ、いいわ……とにかく警察に連絡しないと……じゃあ、教室に戻りなさいッ」

ちッ理由説明しないのかよ、つつまんねえ……

少々遊んでみようかな？

その前に逃げない……

ガラガラ

わッヤバイッ

「ま、まさか．．．．工藤さ．．．．んが死ぬとは．．．ね．．．。」

「うん．．．．」

「どうしよう．．．つかまるのかな．．．．」

「ばかッ不幸なと言わないでよ．．．．」

「見に行ってみる?？」

ちよ、待ってよ。着ちゃダメだッ

「どうなってるか．．．．見てみよ．．．．．自殺になるかもしれないし．．．．」

「うん」

ぎゃ~~~~~

ってのは冗談。

私が頭から血を出して

自殺したようにみせかければよろしいのですわッ（笑

でわでわ・・・・・・・・お化粧タイムッ

「ちゃんと手袋したの?？」

「したよ・・・・・・・・」

声が裏返ってるツ面白いツモチロンボイスレコーダーがしくまれてます。

ぐちゃ

「工藤さん!?!?!?!?!?死んでる??!?嘘よッ嘘よね・

・・・」

「嘘よ、こんなの嘘よ!!!!!!!!!!」

「な・・・・・・・・なんか生臭いッ」

「ひッ」

「逃、逃げるわよ・・・・・・・・」

ひッだってツツツ面白いなア

こういうの大好きなのッ

ヤバイッ誰かくるッてか・・・・・・・・一人っぽいし・・・・・・・・

丸山さんじゃないッ!?

あのいじめられてるッ

「あ．．．人が死んでル?？」

「いいえ，死んでませんよ?？」

「きゃツ．．．．．ってえツ!!!!!!!!!!」

「これはメイクよ、メ・イ・ク」

「す．．．．．すごいねえ」

「うん．．．見なかったことにしといて」

「ハイ」

「だから，貴方はおくにいつて?？」

さてさて．．．．．あいつらが電話するんで

私はそろそろ

「みたんですッ実際に‘死体’をッ」

「どういうふうにですか？死んだ原因はなんだったんですかッ？」

「えっと・・・屋上から飛び降りて」

「原因は？」

「ツツツ・・・」

「なんだったんですかッ」

「私たちが・・・いじめました」

プチッ

「・・・ってことです」

「まさか．．．あれが自作自演だったとは．．．」

「まあ、学校側で処分してくれましたけど．．．」

「私たちは、悪いことしたわ、お願いだから「許すわけないじゃない?」」

「警察側に、このボイスレコーダーを差し出せば、貴方、もしくは親がつかまる。」

「ツツツ．．．」

「さてさて．．．どうしよっかな」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6347f/>

逆襲

2010年10月11日01時33分発行